

■次の文章を読んで後の問いに答えよ。(配点二十五点 時間 二十分)

唐鄭義宗妻盧氏、略涉書史、事舅姑甚得婦

道。嘗夜有強盜數十、持杖鼓譟、踰垣而入。

家人悉奔竄。唯有姑自在室。盧冒白刃、往至姑

側、為賊捶擊幾死。賊去後、家人問、「何獨不

懼。」盧氏曰、「人所、以異於禽獸者、以其有仁

義也。隣里有急、尚相赴救。(1)在於姑而可

委棄乎。若万一危禍、豈宜独生。」

注(1) 略涉書史…広く学問を積んでいること。(2)舅姑…しゅうと(夫の父)としゅうとめ(夫の母) (3)持杖
鼓譟…武器を手を持って騒ぎ立てる。(4)奔竄…逃げ隠れる。(5)捶撃…むちで打つ。

問一 傍線部㉑㉒の漢字の本文中の読み方として最も適当なものを次の中から一つずつ選べ。問いの関係上、送り仮名を省いているものがある。(各一点 計三点)

㉑「事」 一、ことに 二、ことすら 三、つかへて 四、したがひて 五、おもねり

㉒「悉」 一、ようやく 二、しばらく 三、あまねく 四、ことごとく 五、つんざく

㉓「若」 一、もし 二、それ 三、なんぢ 四、あるいは 五、しかし

問二 (1)に当てはまる漢字として最も適当なものを次の中から一つ選べ。(三点)

一、将 二、須 三、猶 四、而 五、況

問三 傍線部㉑について、主語や目的語を明らかにして現代語訳せよ。(四点)

問四 傍線部㉒について、

(一)書き下し文にせよ。(三点) 設問の関係上、返り点は省いてある。

(二)盧氏がこのように言った根拠を五十字以内で説明せよ。(七点)

問五 傍線部㉓を現代語訳せよ。(五点) 設問の関係上、返り点は省いてある。